

子供の不安をやわらげるためにできること

反抗期(第二次反抗期)・・・

習志野市総合教育センター

子供の様々な変化に不安を抱える保護者の皆様へ・・・

小学校高学年頃から中学生にかけて、子供はいわゆる『反抗期』と言われる時期に入ります。今回はその『反抗期』を取り上げます。

★反抗期とは何？

・小学校高学年頃から、子供は自分の価値観や個性を形成していきます。それは時に、親の価値観への反抗という形で表れます。また、自分の気持ちの表現、感情の処理がうまくできず、そのいら立ちが反抗的な態度に出てしまいます。それが反抗期です。



★どんな行動が出てくるの？

- ・ものに当たる、壊す。
- ・部屋に閉じこもる(親に立ち入り禁止などと言う)。
- ・暴言が出る。
- ・親との会話が減る、親に出来事の報告をしなくなる。
- ・挨拶や返事をしなくなる。
- ・服装や生活の乱れ(不良行為を試そうとする子供もいる)。

★どう対応すればいいの？

- 1 必要以上に声をかけない。
 - ・子供に「ちゃんと勉強したの!」等言うと、「わかっているよ!」「これからやろうと思っていたのに!」と反発してきます。子供は子供なりの見通しをもって行動をしていますので、その場の様子だけで細かく声をかけずに、節目節目に声をかけるだけでも十分です。
- 2 否定や決めつけから入らない。
 - ・子供は徐々に親と違う価値観を作っていきます。子供の趣味や興味、友達関係などについて、親の価値観で否定されると強く反発します。親として気になる場合は「それ、人気らしいね。どこがすごいのか?」「新しい友達と気が合うみたいね。」等子供の価値観を尊重しながら聞いてみましょう。
- 3 よけいな心配や確認を避ける。
 - ・中学生くらいになると親に忘れ物を学校に届けられたり、家族で食事をするなどを嫌がります。親に世話をされているところを友達に見られることが嫌だからです。同様に、学校の様子や友達のことを親に聞かれることも嫌がり、反発します。過干渉になったり子供のプライベートを無理に聞こうとすることは避けましょう。
- 4 周りの子と比較しない。
 - ・「〇〇ちゃんは出来ているのに、何であなたは出来ないの」このような言われ方を子供は一番嫌がります。他人を意識せず、子供のペースを信じて温かく見守ってください。

お子様の心の変化や登校渋り等でお困りの時は、総合教育センター教育相談を御利用ください。

総合教育センター 教育相談(047-475-8341) 青少年テレホン相談(047-475-7867)